

兵庫県代協

豊岡市から感謝状

コウノトリの生息
地保全活動に貢献

兵庫県代協(先小山剛
会長)は、10月19日、豊
岡市立コウノトリ文化館
他目的ホールで開催され
た「豊岡市―韓国・禮山
郡交流シンポジウム」に
おいて、豊岡市から同代
協のこれまでのコウノト
リ生息地保全活動への貢
献に対して感謝状が贈ら
れた。同代協から吉谷昌
平理事が出席した。



市長(中央)と吉谷理事(右端)

同代協は、社会や地域
住民などにボランティア
等の様々な活動を通じて
社会貢献を行っている。
その一環として、201
3年からコウノトリが生
息する兵庫県豊岡市の市
立ハチゴロウの戸島湿地
(ラムサール条約湿地)
における湿地整備等の生
息地保全活動に取り組ん
でおり、これまで日本コ
ウノトリ協会の指導のも
と10回の湿地整備活動を
行ってきた。

当日は、門間雄司豊岡
市長をはじめ、韓国禮山
郡守からもコウノトリ保
護活動に携わる多くの関
係者が出席し、コウノト
リの野生復帰への取組み
など報告・意見交換が行
われた。

吉谷理事は「当日は、小
雨の降る中ではありまし
たが、コウノトリにとて

も本気で熱い方々の集ま
りでした。韓国からもコ
ウノトリの第一人者など
8名の方々が来られてい
ました。コウノトリのク
ラッタリンクが響く中シ
ンポジウムは進行されま
した。感謝状贈呈式には
5団体のうち4団体が参
加し、3番目に名前を呼
ばれて前に出て豊岡市長
より感謝状を受け取り、
その後記念写真を撮りま
した。写真。韓国では、コ
ウノトリの生息地に多大
な額の予算を投じて環境
整備をしていることや、
子どもたちなどが楽しめ
るお祭りのような催しが
紹介されました。韓国禮
山郡の今後の課題とし
て、日本のような地域社
会などボランティアでの
活動がないため、そのよ
うなことができたらい
と報告されていました。
市長とのツーショット写
真を撮ろうと思いましたが、
会の終了前にすでに
姿はありませんでした。
シンポジウム終了後、コ
ウノトリ共生課と日本コ
ウノトリの会の方に感謝
の意を述べて帰りまし
た」とコメントした。

なお、コウノトリの野
生復帰活動は、わが国で
は2005年に初めて兵
庫県で5羽のコウノトリ
が放鳥されて以来、今年
は13府県31市町、54か所
で145羽が巣立ち、野
外の個体数は550羽を
超えている。